

# 学校だより(いしがき)

第20号 令和3年10月29日  
文責: 校長 石橋 節二 TEL94-2038

## 学校教育目標

「ふるさと中原を担う生徒の育成」  
～自律と共同を通して～

今回の学校だよりは、成富兵庫成安とみやき町、故事成語⑨「五里霧中」、芥川賞と直木賞の違い、更迭と左遷の違い、新聞難解語句、難読漢字、11月~1月上旬のおもな行事について紹介します。

## ○成富兵庫成安とみやき町

皆さんもご存知のように、**成富兵庫茂安**は戦国時代から江戸時代初期に活躍した佐賀の武士です。成安は、佐賀藩を豊かにするため**治水事業**に取り組みました。その中で、みやき町に関係する事業として、『**千栗の土居**』があります。そこで、今回は『**千栗の土居**』について簡単に紹介します。

昔の筑後川は、自然のままの流れに沿って蛇行して流れており、その曲がりくねった川によって藩境が決められていました。**千栗神社**の前の川向こうは久留米市(福岡県)というのは、そういう理由からです。この筑後川は、大雨が降ると頻繁に氾濫をおこす荒れ川でした。そのため、洪水から民を守り農業生産の安定を図ることが、領主の大きな使命でもありました。江戸時代の初期に佐賀藩主は、**成富兵庫茂安**に命じて筑後川の佐賀側に頑丈な堤防(土居)を作らせました。この土居は、一般に『**千栗の土居**』と呼ばれ、千栗神社から現在の三根地区坂口付近まで約8km(総全長12km)あったそうです。土居の中心部には粘土を突き固め水が漏れるのを防いだ**ハガネ**とよばれる部分があり、川側には竹を、田畑側には杉の木が植えられており**杉土居**とも呼ばれていたそうです。現在は、その杉の木は伐採され残っていません。

下の地図は、土居が作られていた場所です。曲がりくねった川沿いでなく、三根校区**土井外(どいほか)**地区や**坂口**地区の内側に比較的直線的に土居が作られました。



その後、明治時代に筑後川の流れをスムーズ(直線化)にするために『**千栗の土居**』沿いに放水路がつくられ、その流れが本流となっています。その結果、筑後川の東側(川向こう)に**土井外(どいほか)**地区や**坂口地区**などの佐賀県の土地があるという状況となっています。そのため、人々は渡し船を使って行き来していました。実は、次の機会に紹介しますが、**渡し船転事故**が昭和25年2月に起こり、6名の児童の尊い命が失われました。

**成富兵庫茂安**の功績は大きく、北茂安や南茂安(三根東地区)という地名が残っていたり、筑後川の堤防には**記念碑**が建てられたりしています。現在は千栗土居のほとんどが壊されてしまいましたが、「千栗の土居公園」には土居の一部が復元され保存してあります。また、その公園には千葉県泥炭地から出土した種から芽を出した「**二千年ハス**」が栽培されており、6月下旬から8月初旬にかけて花が咲きます。



【漢字よみ】①ざくろ ②なつめ ③いちじく ④あけび ⑤けびいし ⑥かげゆし ⑦さきもり

## ○故事成語⑨

### 五里霧中（ごりむちゅう）

【意味】 どうしてよいか迷い、わからなくなること。 方角がわからなくなること

【由来】

後漢（ごかん）の時代に張楷（ちょうかい）という人がいた。張楷（ちょうかい）という人は五里四方（ごりしほう）にわたる霧（きり）をおこす術を知っていた。世間に出るのをいやがる張楷（ちょうかい）は集まってくる人に会いたくないときには、この術を使って姿をかくしたという。もともとは、自分の姿をかくすものであったが、現在の意味のようにつかわれるようになった。  
**（後漢書）**

## ○芥川賞・直木賞の違い

芥川賞は、雑誌（同人雑誌を含む）に発表された、新進作家による純文学の中・短編作品が対象で、直木賞は、新進・中堅作家によるエンターテインメント作品の単行本（長編小説もしくは短編集）が対象です。

芥川賞を創設したのは、芥川龍之介の友人で「文藝春秋」の創設者の**菊池寛**です。この賞は、芥川龍之介の功績を記念してつくられた賞です。直木賞の正式名称は「直木三十五賞」（なおきさんじゅうごしょう）と読みます。芥川龍之介にくらべて知名度は高くはありませんが、**直木三十五**も作家であり、菊池寛の友人です。

## ○更迭と左遷の違い

**更迭**（こうてつ）とは、社会的地位の役職にある人を他の人に代えることを意味します。簡単に言うと、上司から辞めさせられるといったネガティブな意味合いで用いられることが多いようです。「内閣の更迭」とは内閣を構成する各大臣を入れ替える人事を表します。

一方、**左遷**（させん）とは、ある役職にある人を低い役職に配置転換することを意味します。「〇〇へ左遷された。」という例文では、〇〇は「左遷された先」のことで、職場での地位などが低くなり、その変更になった勤務先を表します。

## ○新聞難読・難解語句

**ニッチ**：ニッチな商品といった場合は一部の人のみに興味をいだかせる商品。経済学的ニッチは、すき間、小規模な市場。

**ロックダウン**（lockdown）：建物やエリアへの出入りや、その中を移動が自由にできない緊急の状況

**一世一代**：（いっせいちだい）一生のうちたった一度のこと。一生に二度とないような重大なこと。また、ふだんと違い際立ったことをすること。もと役者などが引退するとき、演じ納めとして最後に得意の芸を演ずることをいう。

**横柄**（おうへい）：1. 驕り高ぶって人を見下すさま。いばって、人を無視した態度をとること

**ごたごた**：雑然として秩序のないさま。混乱や争いが起こっているさま

**がたひし**：自分と他人、あれとこれと、物事が対立して決着しないこと。

**ぐでんぐでん**：酒に酔って正体がなくなっているさま。ぐでぐで。「ぐでんぐでんに酔ってしまう」

**ちゃきちゃき**：血筋にまじりけがなく純粋なこと。生粋（きっすい）。「ちゃきちゃきの江戸っ子」

**斟酌**（しんしゃく）：相手の事情や心情をくみとること。また、くみとって手加減すること

**瑕疵**（かし）：きず。欠点。また、過失。法律上、なんらかの欠点や欠陥のあること

**序で**（ついで）：あることを行うときに、いっしょに他のことにも利用できる機会

**強ち**（あながち）：あとに打消しの語を伴って、断定しきれない気持ちを表す。必ずしも。一概に。「強ち（に）うそとは言いきれない」

**おもむろに**：落ち着いて、ゆっくりと行動するさま。「徐に立ち上がる」「徐に口を開く」。文化庁調査では本来の意味ではない「不意に」で使う人が40.8パーセントという結果が出ている。

## ○難読漢字（いくつ読めますか？）

①石榴 ②棗 ③無花果 ④木通 ⑤検非違使 ⑥勘解由使 ⑦防人

## ○10月下旬～1月上旬の行事予定

※太文字は全校生徒関係分

- ・3年生進路説明会・激励会・3年合唱 11/4（木）
- ・3年生1日バス研修・1,2年生合唱 11/12（金）
- ・3年生三者面談 11/16（火）～
- ・火災想定避難訓練 11/17（水）
- ・2学期末テスト 11/24（水）～26（金）
- ・スタントマンによる交通安全教室 11/30（火）
- ・1,2年生県学習状況調査 12/1（水）2（木）
- ・数学検定試験（希望者のみ）12/4（土）
- ・2学期終業式 12/24（金）
- ・3学期始業式 1/11（火）